

# 一般質問(要旨)

## 市原 広子

**計器跡地ダイオキシン汚染。市は過去の汚染の実態解明を**

**問** 基準値3・7倍汚染報告書を09年11月に受理・放置。市長の見解。

**答** 航空計器によるその後の対応、方針の策定を待っていた。しかし市内での情報共有がなされていなかったことなど事務のあり方からいっても問題なしとは思っていない。

**子育て支援、現金給付が現物給付か**

**問** ①市長の見解。②認証の保育料補てんを。③育休明け保育園安心受け入れ体制を。

**答** ①現金給付は否定しないが、安定的な財源確保と最低限の基盤整備が必要。待機児解消を急ぎたい。②現金給付が実施できる状況にない。待機児解消から。③保育のあり方の影響を慎重に判断したい。

**七小跡地利用等市民の意見や思いにこたえて整備せよ**

**問** ①今ある緑を守れ。②道路スピード抑制を。③狛

江駅前喫煙コーナーの受動喫煙防止を。

**答** ①可能な限り保存していく。②道路建設は防災の観点からも重要と考える。③路上喫煙禁止条例の整備の中で検討するとともに、当面の対応を検討したい。



## 吉野 芳子

**多様な保育の充実と義務教育後も切れ目ない子育て支援を目指せ**

**問** ①待機児童数②潜在二丁ゾの見込み③0・1歳の一時保育の内容④家庭福祉員の増員方法と公立保育園との連携

**答** ①22年4月現在71名②26年度37・35%と見込んでいる③育児疲れの解消等一時的

な保育需要に対応④研修会への参加や情報共有を進める⑤待機児解消を最優先⑥一定の理解はする⑦拡充を内部で調整⑧関係機関等の連携体制を検討。

**介護保険計画への市民参加と認知症を支える地域づくりを実施せよ**

**問** ①第5期計画策定に際し介護保険推進市民協議会での議論②二丁ゾ調査の項目を市民参加で③特養の整備内容と低所得者への対応④ふえ続ける認知症の実態と支援方法⑤先進市大牟田のようなコーディネーター養成や物忘れ相談検診を。

**答** ①課題の実現に向けた議論。②協議会の市民公募委員の意見反映。③介護保険推進市民協議会で検討。④実数の把握はできていない。ネットワークの検討。⑤今後の課題としていく。

## 石井 功

**新狛江市史編さん事業について**

**問** ①「狛江市実施計画」の中の「新狛江市史編さん事業」とはどのような内容なのか。②新狛江市史編さん事業の組織、体制はどのようにお考えか。③

編さん事業を行うに当たっては、史料を整理するにしても相当のスペースが必要と考えるが。①前回刊行後の新たな資料の発見や研究成果等を踏まえ編さんする。②市史編さん委員会、編集委員会、市史編さん室を設置し、資料収集・調査解説を行う。③資料の保存や整理作業、解説作業等を行える広さと防火・防犯設備が必要。

## 須田 繁美

**4月に施行される公文書管理法と情報公開条例の関係と問題**

**問** ①公文書の保管・移送・廃棄基準はあるのか。②ダイオキシン問題の情報開示請求に対し非開示と決定した理由は。③同時期に測定中間報告が提出されている。危険があるのになぜ公開しないのか。④公文書のバックアップが必要ではないか。

**答** ①文書管理規則を受け基準等作成している。②狛江市情報公開条例第9条第2号に基づき一定期間は法人秘扱いとした。③民間の情報開示行政が率先して情報開示を義務づけずる法令がない。④歴史的価値のあるものについては検討していく。

## 栗山 欽行

**より便利でわかりやすく行政情報提供の適正化について**

①行政情報入手に関して公平性の確保が求められる。②情報格差是正の認識は。③情報格差を全戸配付した場合は経費及び考え方は。④情報提供に関する発信・削除管理を一括化するガイドライン作成が必要と考えるが、市の認識は。

## 谷田部 和夫

**確かな基礎学力養育ー中学校新学習指導要領への対応について**

**問** ①武道授業の開始等中学校新学習指導要領への対応は万全か。②全国一斉学力調査が抽出方式に変わった。適切な評価・指導をどう行うか。市教委の対応は。③学習指導要領解説書の有効活用が求められる。指導計画書に生かされているか。

**答** ①中学校長会と連絡を密にとり、環境整備等を準備。②国の調査は基礎資料となる自校の授業改善。狛江市独自の調査は学習の定着度をはかる。都の調査は全般的な視野から狛江の学習状況の把握。③解説書の内容を大いに参考にしている。

## 白井 明

**だれにも優しい狛江のまちづくりと次代を担う子供たちのために**

**答** ①三位一体改革で交付金等大幅削減②ピークは借りかえを除くと19年度約29億万円強③今後も取り組む④22年度31・51%⑤空調設備が整えば快適な学習が可能⑥市民福祉推進委員会で見聞聴取⑦工業をアピールし振興につなげたい。

**問** ①社会の変化に対応していく体制の再構築。②湧水の復活・水循環の回復と緑の創出。③まちの安全に対する市民要望への対応。④高齢者の健康づくり・生きがいづくりの考え方。⑤地域に開かれた学校づくりの推進について。

**答** ①市政、まちづくりを新たな高みへと全力を尽くす。②雨水浸透推進。公園や緑地整備の中で検討。樹林地の計画的購入を実施。③「東京一安全な都市「狛江」の実現を目指す。④介護予防を目的の事業に取り組む。⑤広く周知し一層推進する。

## 浅野 和男

**過去の一般質問の進捗状況の検証を行いたい**

①こまバスの広告収入が入れば税金による赤字補てんが減少する。いつから実施か。②平成22年4月1日現在正規職員は460人、嘱託職員等

どのような観点から検討し、いつ結論を出すのか。②市長は三中の移転と一中・四中を統合すると定めた上で教育委員会に何を求め、その回答期限は。

**問** ①教育委員会は市長から1年前に三中移転の是非等の意見を求められているが、

**答** ①教育的見地から検討し、できる限り今年度末までに結論を出したい。②今回公共施設再編方針で三中移転の方針を出したので、改めて教育委員会の考えを伺うもの。できれば年度中を期限内に。

**問** 正規職員数は目標を上回る削減をしたが人件費総額は増加し、原因は嘱託職員の報酬と思われる。①仕事のやり方を見直すとともに嘱託職員の定数を規定すべきと思うが。②職員の勤務評定を早期に行いそれに応じた給与体系に改正を。

**答** ①アクションプランにおける定員適正化計画の検証結果を踏まえ精査する。②新たな人事評価制度を全職員へ平成23年度に導入し平成25年度から評価結果を給与に反映できるように調整している。

## 効率的な行財政運営

①こまバスの広告収入が入れば税金による赤字補てんが減少する。いつから実施か。②平成22年4月1日現在正規職員は460人、嘱託職員等